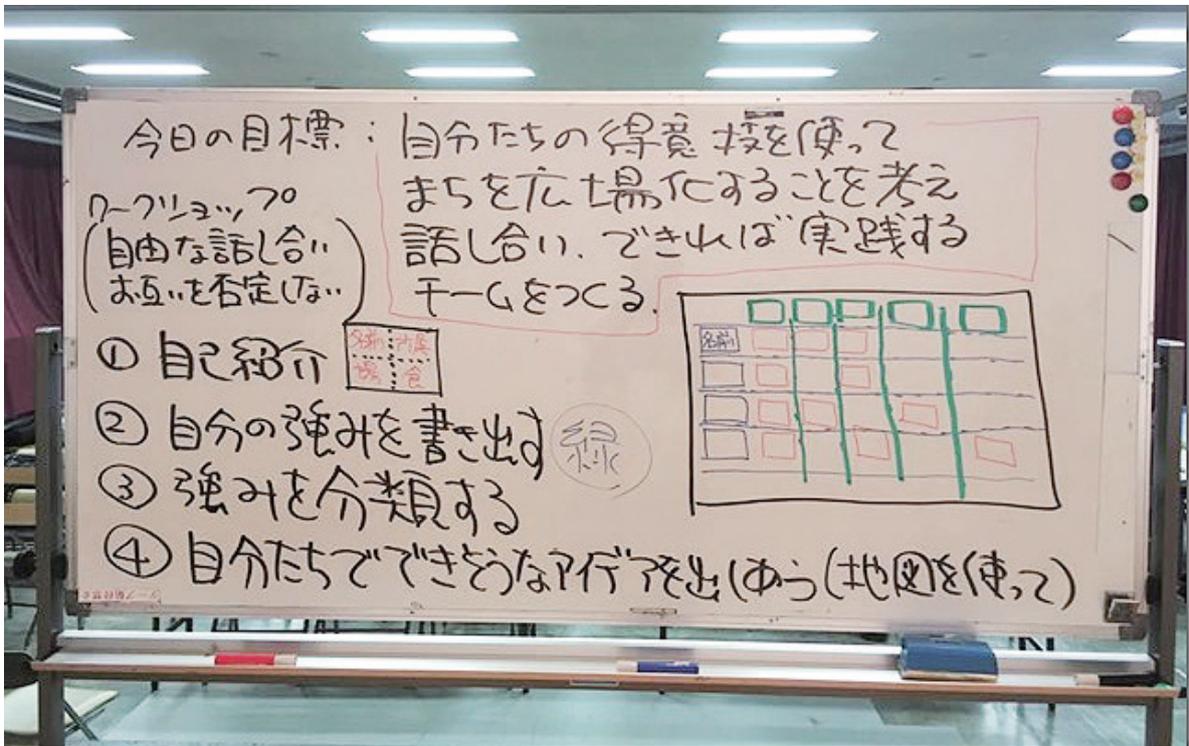


■市民とともにワークショップ
「生かそう！まちなか空間」

コーディネート 前田眞 (愛媛大学社会連携推進機構教授
地域連携コーディネーター)

JIA 四国支部、今治市民ひろばを考える会主催のフォーラムも2回目 岡河 貢氏古谷誠章氏の「ひろばとコミュニティ」と題して講演、岡河氏の丹下の大学時代のコンペに見る広場に対する概念の誕生から欧米の広場と日本の広場の原点のお話、古谷氏からご自身の関わった仕事から広場は人の行為行動が伴うことで豊かな場に、まちのどこでも広場になり得る。広場で展開される行為は参加意識や感動が市民に共有される必要があると。

休憩の後前田眞氏のコーディネートで自分の強みを生かしてまちなかに活力を目標に4グループに分かれ個人個人の強みを発表、市内地図にその強みを具体的に展開していくという作業が行われた。



チーム A

チーム：小部・笹木・富田・柴田・丹下・和田

「切り口」

■アート

笹木さんは広場でクラシック音楽（コントラバス）を
富田さんは伝統行事 獅子舞を仕切る 役者になって演劇を催す
柴田さんは現代アートを広場で展開 遊書製作で今治の今を斬る
丹下さんは広場で仲間とおしゃべり
和田さんは落語を広場で 歴史特に近代建築の研究を生かしたい

■食

小部さんは自然学（生態学）に興味
笹木さんはブローキングイングリッシュ得意 外人さんと食の会話 チーズ作り
富田さんは毒キノコのみ分け方が分かる 京都のお寺の精進料理に興味 薬草に詳しい 魚を手づかみでとるのが得意
丹下さんは外国人に対する情報提供
和田さんは家庭料理が得意

■遊

小部さんは山登りが趣味 仲間と山のお話
笹木さんは貧乏旅行のコツを教えます
富田さんは遊びのアイデアは豊富
柴田さんは DIY が得意
丹下さんは時間が有り余っているので暇を生かしてみんなと何かできれば
和田さんは工作が得意 子供に建築の模型や家具の製作を教える

■建

小部さんはまちなか居住の楽しさを語りたい
笹木さんは古民家、まちづくりに興味があり情報提供やまちなかの資源を生かす方法を議論したい
富田さんは掃除洗濯が得意 奥さんを喜ばせる方法
柴田さんはテーブルコーディネートが得意

地図に構想をプロット

まちなかの廃校を利用して調理教室を開催
古い家具を集めて再利用の講座や展示を
市民会館前広場で国際音楽祭と落語を
市民会館前広場できのこと試食会と毒キノコの見分け方講習会
日本のチーズの品評会
広小路で獅子舞の蓮を集め行列
川沿いで新しい町屋の展開 DIY でリノベーションをトライ 魚掴み取り大会
みなと交流館をサイクリスト交流の場に 海の見える会議場で瀬戸内学のフォーラム



■チームA



各自の強みを分野ごとに発表



まちなかの地図に強みを展開

チーム B

チーム: 山本・細木・中村・新居・バサントー・山口

「切り口」

■調査

山口さんは古い文献を取り寄せまちの歴史を学ぶ 街頭インタビューでまちのあり方を
住民、市民にヒヤリング調査 まちのあり方、方向性を

■アウトドア

細木さんは魚釣り 船の操舵

山口さんは山登り 地図を読むのが得意 ドライブ好き

■表現力

山本さんは建築の設計が得意

中村さんはスピーチ、数理分析が得意

新居さんは設計、CADが得意 英語が堪能

山口さんは論文をまとめるのが得意

■料理

細木さんは魚を捌くのが得意

新居さんはインド料理が得意

■体力

山本さんは年齢の割に元気

新居さんはヨーガのインストラクターができる

山口さんは泳ぎが得意である

■人付き合い、ネットワーク

山本さんは指導力があり物事を指図

細木さんは漫画家、グラフィックデザイナー、全国の専門学校との付き合いがある

新居さんは人と会ってお話するのが好き

山口さんは商業 mkg系の研究者の知り合いが多い ノミネーション得意

地図に構想をプロット

市民会館で山本長水さんが建築講座を開催

市民会館前広場でファッションショー

まちなかの建物で公開リノベーション

みなと交流館で釣りたての魚の試食会



■チームB



各自の強みを分野ごとに発表



まちなかの地図に強みを展開

チームC (今治ラヂウム温泉)

チーム：村上・内野・武智・西田・新居・橘
「切り口」

■アウトドア

村上さんは買い物町歩きが趣味
内野輝明さんは川遊びが好き
新居さんは庭いじりが趣味
橘さんはドライブ、旅行が趣味で地図を読むのが得意

■コミュニケーション

村上さんは飲み会が好き
内野さんはバンド演奏、三味線得意 宴会企画得意
武智さんは人と会話するのが好き
西田さんは継続してコミュニケーションをとりたい

■イベント

村上さんはイベント企画が得意
内野輝明さんは会議を仕掛けるのが得意
武智さんはイベントの企画 特にクラシックコンサートに興味がある
橘さんはイベントに参加することが好き

■スポーツ

村上さんはサイクリンがが好き
内野さんはマラソンが得意
西田さんは水泳が得意
橘さんは弓道が得意

■食

村上さんは食べるのが好き
内野さんは飲み屋のはしごが得意
新居さんは食べることが好き
橘さんは食通

■建築

内野さんは図面おりが得意
武智さんは公園の計画に興味がある
西田さんは模型製作が得意 工事現場を巡るのが好き
新居さんは建築を見て回るのが好き

地図に構想をプロット

市民会館、広場で音楽祭
JR今治駅からみなと交流館までの通りをイベント通りと位置づける
広小路ではカフェテラスや屋台が出店歩行者天国を開催する
市内にある丹下作品とラヂウム温泉など建築名所のマップを作成
ボランティアガイドを
市民会館を瀬戸内戦後モダニズム建築の資料館に（大三島の伊東豊雄建築
ミュージアムと合わせて今治をモダニズム建築の歴史を検証
中心部の町並みにポケットパークをまちなか居住のアメニティーとコミュニケー
ションの場
ラヂウム温泉を保存再生 アートワークやパーティーの会場 サイクリストに温泉
施設を復活
ドイツキール市のキールポッフェのような海事都市として世界から人を呼ぶイベント
を企画し、ポートレース、デザインアワード、コンサート、アトラクション等
トリエンナーレくらいのスパンで開催 港から、広小路、市庁舎広場、まちな
なか、JRまでの通り他今治周辺も含め舞台にし開催



チーム D

チーム：安藤・松田・大野・藤田・上野・長井

「切り口」

■アート

安藤さんはまちの景色や風俗を水彩画でスケッチ 花の名前をよく知っている
大野さんはカメラよりもスケッチでまちの有様を描く
藤田さんは街中で絵を描く 楽器を演奏できる

■アクセス

安藤さんは自転車で長距離サイクリング しまなみへ
松田さんは船舶の操舵ができる強みを生かして島々を探検

■食

安藤さんはうどん大好き、お酒を美味しく飲みたい
松田さんは酒なしでは生きていけない まちなか、広場にバーを
大野さんは美味しい料理とお店お見つけるのが得意 ミシュラン三つ星食堂今治版
上野さんは地元料理を食べること

■人柄

安藤さんは人に嫌われない性格を生かして……

■作る系

安藤さんはうどんが打てる 餃子が皮から作れる
大野さんは家族の昼飯が作れる
藤田さんは団子が作れる

■できる系

松田さんはエアコンないで生きていける
大野さんは人の話をうまく聞ける
藤田さんは人との会話、話を聞くことが得意 地域の歴史や人に寄り添うこと
長井さんはサッカーが好き (フットサル)
上野さんは人が見逃しそうなことを見つけることができる

■好きなこと

松田さんは釣りが大好き

地図に構想をプロット

市民会館、広場で海の絵のプロジェクトマッピング、野外映画祭の開催
ラーメン博やうどん博を広場で開催
ジャズコンサートを開催
広場でパーティー
大丸跡地 (芝生広場) フットサル競技開催
金星川の清掃 周辺を緑化
広小路に屋台を展開 名物焼き鳥と美味しいお酒を
広小路でストリートアートを展開
みなと交流館で魚とれとれピチピチ市を開催、地元料理を食べるイベント
サイクリストに港からクルージングコースを用意



■ まちなか 広場とコミュニティーについて

1：まちの中心に必要な要素・・・失ったものは再生可能か？

□消費者、来訪者のニーズ（商業・観光・交流）

- ・ 個性的な商品や集客のある娯楽、
イベント、伝統的な行事、魅力のあるまち（建築、アメニティー）
- ・ 経済活動的にも文化的活動にも魅力のある空間
- ・ その役割はヒト、モノ、コトを通して祝祭的アリーナの広場としての役割

□暮らしの環境、生活、生活者のコミュニティー

- ・ スローシティの概念 健康的な独自の食文化、環境重視の姿勢 を持って
幸せな市民生活が魅力を生み 観光につながる まちのアメニティーに現れる
- ・ まちの住人と来訪者との交流 市、物流を通しての人的、文化的交流
- ・ 旧市街地では生活者の縁側のコミュニティー空間
- ・ 銭湯や古本屋、床屋、神社や寺の境内、児童公園 日常のコミュニティー空間
- ・ 子供や老人の居場所
- ・ 「まちの宝」の再発見

なぜ衰退していったか？ 原因

- ・ 車社会により商業施設の郊外への分散・・・ 解決策は
- ・ 大手資本の戦略的、画一的商品に一蹴された・・・ 解決策は
- ・ 時代、消費者のニーズの変化に対応できていない・・・ 解決策は
- ・ 商店主の高齢化 少子化・・・ 解決策は

2：歴史的建築の現代社会における役割、活用法

- ・ 戦後民主主義を体現できる理想像として造られた建築、広場
なぜ、市民会館、庁舎、広場、公会堂が日常に文化活動に利用されないのか
- ・ 建築はまちの歴史、文化の生き証人
その中でも戦後モダニズム建築、戦前の生き残った建築は重要で利活用の存続
- ・ 公共建築としての役割とまちにとっての必要性
市民会館、公会堂、市庁舎それぞれの役割は
- ・ まちの駅としての機能は
- ・ 市民主体の活動拠点 運営管理に責任ある組織づくり（NPO法人）
- ・ 集客の方法 SNS、FB、ICTを利用したネットワーク利用

3：広場の活用（市民会館、公会堂、庁舎も含む）

- ・ 祝祭、集会、普段知り合うはずのない人々が出会う場
おんまぐ祭、文化祭、海事都市関連のイベント、新たな文化的イベント
- ・ フリーマーケット、骨董市、軽トラ市、「市」的催し
- ・ コンサート（Classic,pops）、大道芸、パフォーマンス、サーカス、コスプレ大会
- ・ 芸術祭（様々なジャンルのアーティストのコラボ）、子供と大人を結ぶ
市民と来訪者を結ぶワークショップ
- ・ 丹下の建築展、映画（建築家、丹下健三）、瀬戸内戦後モダニズム建築展
- ・ 全国まちづくり会議の誘致、開催
- ・ プロジェクトマッピングによるアートの展開
- ・ 今治地域博、グルメ博 定期的に
- ・ 母と子のコンサート、老人と子供による音楽 世代を結ぶ交流、伝承
- ・ 広場で開催されるイベント、事業に対応した設備を整備

4：今治らしさの発見とまち中での展開の手法

- ・今治の歴史や文化を紹介する図書を市民会館に 資料をビジュアル化
- ・閉校した旧校区ごとの文化的祭を庁舎広場で合同で行う
持ち寄り合唱団、読み聞かせ隊、子供の未来を語るWS、
劇団の創設（演劇を通してまちの物語を）

5：しまなみ,大通り,みなと交流館,商店街,まちなか歴史的建築群,閉校校舎活用との連携

- ・まち全体に展開するイベント（旧校区間の連帯）や事業を定期的に仕掛ける
- ・港から庁舎までの大通りの歩行者専用利用 ストリートカフェ ショップ 踊り
- ・日本最大の海事都市からキールボッフエのような世界的海事都市としてのイベント
ヨットレース、海に関するレジャー、世界から船を招待、
<http://www.kieler-woche.de> https://de.wikipedia.org/wiki/Kieler_Woche
同時開催で デザイン、アートウィークを開催 まちの様々なアイテムデザイン
やアートを世界的コンペで仕掛ける 海とまちのあらゆる施設と場所が会場
毎年でなくともトリエンナーくらいで、まちじゅうでおもてなし、
まちのアイテムや企業（特にタオル業界）のデザインの向上、開発につながる
- ・しまなみ街道を介して尾道今治の交流イベント
しまなみ芸術祭、しまなみサミットを定期的に
- ・まちのインフォメーション的役割 市民会館をインフォメーションステーションに
建築の案内：市内の丹下建築、ラヂウム温泉、今治城、みなと交流館、大三島
伊東建築、大島、しまなみの名所、建築や取り組み
- ・瀬戸内海文明圏 戦後モダニズム建築展
瀬戸内沿岸の戦後モダニズム建築の包括的に文化財として捉えていく可能性は

今後の展望

- ・継続的にまちの中心の議論がは可能か
- ・行政が主導するまちづくり会議や地域活性化会議への合流は
- ・今治市民広場を考える会、建築家協会、建築学会、士会の支援方法の検討
- ・行政、市民団体、NPO法人、産業界、大学（社会連携推進）への提案や参加の働きかけ